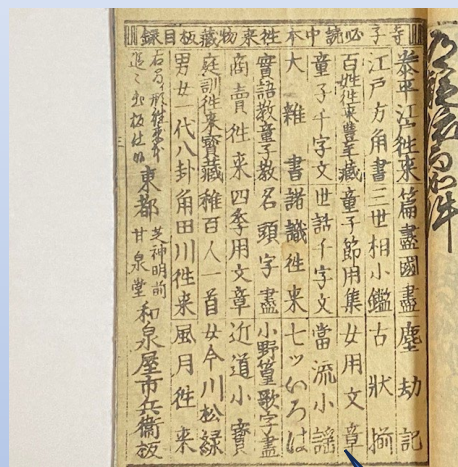


本資料は2024年1月30日

東洋大学大学院ダイバーシティスクール  
研究部門講義の中で使われた

1/32

# 寺子屋教育の内容と方法



全32枚  
1枚当たり30秒/15秒、  
全体で15分スライド  
ショー



夜久 竹夫 (日大文理)

2024.1.30

夜久学館資料

YGD-2023-018, ©2024 YakuGakkan, CC BY-SA

YGD-2023-008

甘泉堂板「百姓往来」  
巻末広告ページより



1. 和泉屋市兵衛、寺子必読書、百姓往来豊年蔵、最終ページ、18〇〇、甘泉堂
2. 石川謙、寺子屋：庶民教育機関 日本歴史新書、237p、1960、至文堂
3. 川本亨二、初等算数教科書としての「塵劫記」、教育学研究 35(1968), 105-114.
4. 石川松太郎、藩校と寺子屋、p238、1978、教育社
5. 丹和浩解説、寺子屋の学習と往来物、平成5(1993) 展示を編集、東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ、1993

<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/exhibition/orai>

6. 石川松太郎・小泉吉永編、往来物解題辞典、2003、往来者倶楽部

[http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a\\_r/B40.htm](http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a_r/B40.htm)

7. 東京都立図書館、「寺子屋」ってなに？、江戸東京デジタルミュージアム、2011

[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo\\_library/gakumon/page1-1.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo_library/gakumon/page1-1.html)

8. 高橋敏、寺子屋：驚くべき江戸時代の教育力、nippon.com、2021.3.16

<https://www.nippon.com/ja/japan-topics/g01005/>

9. 夜久学館所蔵書籍。一覧表, 2023

<http://www.yaku.org/shop/ichiranHyoKakakuType.html>

10. 夜久竹夫、寺子屋教育と現在、第168回応用オートマトン研究会資料。YGD-2023-005

趣旨  
スクールでの情報交換実習：  
スクールの活動に役立てるため  
寺子屋教育の内容と方法を解説

## 要旨

- § 2 寺子屋の概要
- § 3 教育内容：カリキュラム・テキスト解説
- § 4 教育方法：法則優先方式、個別教育
- § 5 現代との比較
- § 6 寺子屋を指導に活かす

# 1.寺子屋年表[1,2,3]

4/32



寺子屋

社会一般

1500頃(室町時代) 寺子屋  
始まる

646 **大化改新**、仏教儒教の定着  
712 古事記成立、神話定着

1591頃 **近世**始まる。総定住、  
総自営農(10000平米/戸)  
・・・**地域文化振興の始まり**

1603 江戸時代始まる  
1624-1644頃 商業出版一般化  
←木版印刷普及



1750頃 寺子屋増加

←文書主義

1830-1844 著しく増加

1850以降 15,000以上[2]

1872 明治学制。仏教否定、  
画一教育、崩し字隔離

1945 戦後教育。  
宗教・道徳原理隔離、  
画一教育徹底、新仮名遣い

1868 明治維新、近代

国教: 神仏混淆→神道  
地租改正

→土地売買自由化...

→地域文化衰退始まる

1945 戦後体制、現代

均分相続制・

定住妨害法制←米国

→地域文化衰退の進行

2000代 定住衰退←均分

相続制・コスパ優先...

→地域文化消滅の危機

## 2. 寺子屋概観

### 2.1 寺子屋の仕様

6/32



目的	読み書き算盤 + 神儒仏 + 作法
運営主体	寺院、共同体(村立)、教師(私塾)
対象	5,6歳位～15,16歳位
学校数	1850以降(幕末) 15000以上[5]、 年間300開業・江戸だけで1000～1300[Wiki]

# 寺子屋の仕様(続き)

全国組織	不明, 但し教科課程と教科書はほぼ 全国共通
教師	僧侶、神官、武士、一般（男女）
教師養成	当初は足利学校等、湯島聖堂、私塾等
授業形態	複式授業



足利学校



湯島聖堂



石田梅岩邸



## 2.2 寺子屋の効果

8/32

効果：学芸の興隆、民度向上、経済成長

	日本	英国	蘭	米	中
1700	154	107	40	5	日本より大
1820 マディソン統計	218	348	43	124	1.992
1915	412	284		1.794	1.098
2,000 IMF 報告	4,888	1.651	414	10.285	1.215
2020 同上	5.049	2.711	910	20.333	14.723

注。識字率: 江戸1850、70~86%(欧米20%前後)



## 2.3 周辺の寺子屋

9/32



- 市内と周辺
- 筆子(生徒)参加の筆子塚(生徒が師匠を顕彰)
- 市有形文化財
- 寺院境内
- 筆子塚

画像

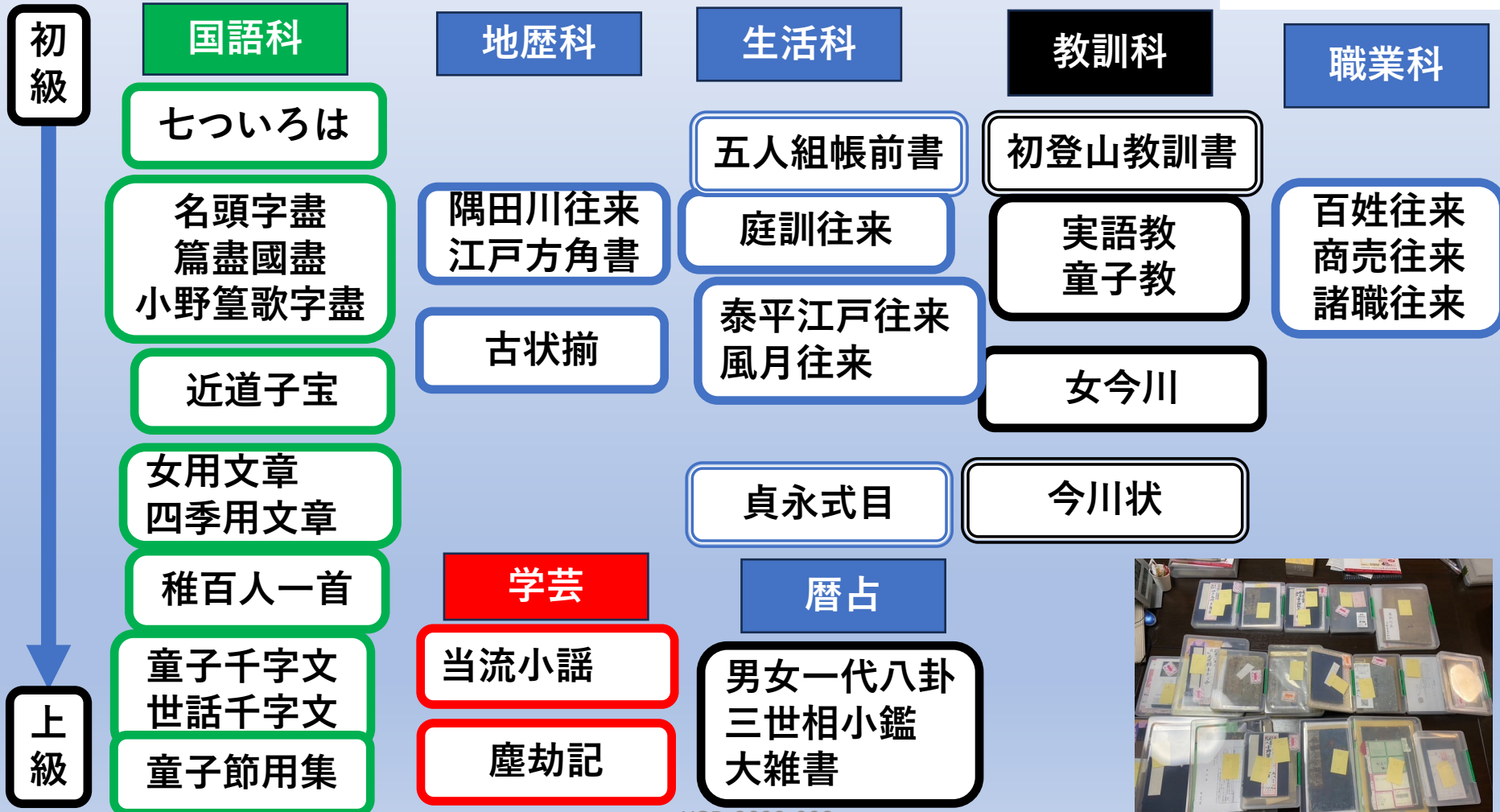
# 3. 教育内容：教科書

10/32



- 全部で**27種**前後 (↓)
- **20頁/冊, 300字/頁**程度、
- **1冊600字程度**が多い

## 3. 1 教科課程概観[4]



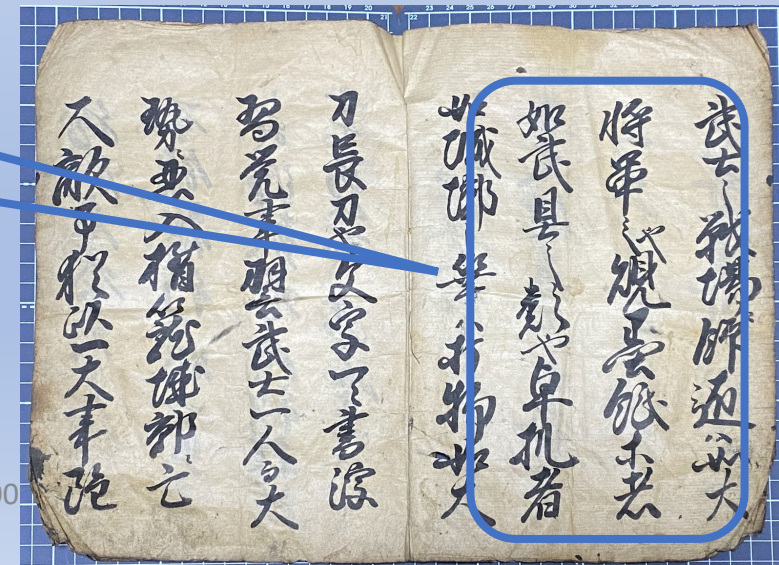
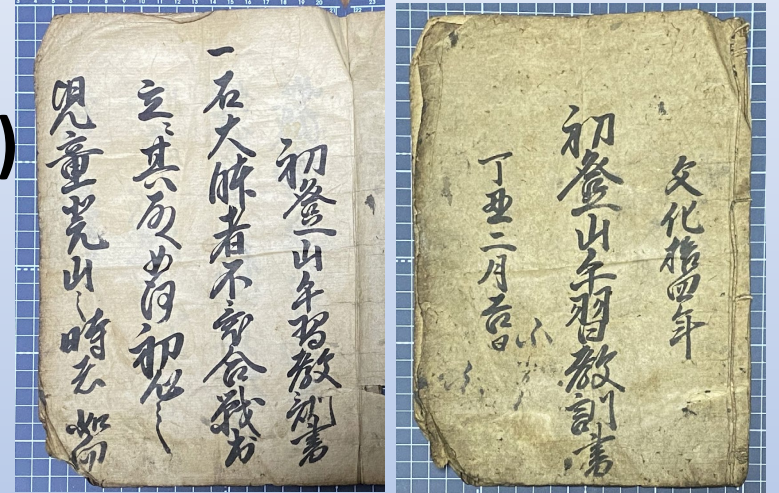


# 3.2 入学前の読本

## ☆初登山教訓書

梶原平三・曾我太郎(伝) (1625)

45字 x 15p約700字の教訓



師匠は大將軍の如し、  
硯墨紙等は武具の類也・・・

から始まる教訓

# 3.3 語彙科(国語科)



単字

## ○ 七ついろは

47字x同音単漢字7種計約500字

## ○ 名頭字尽く

文政11年版は111文字x五体漢単字集(名字)



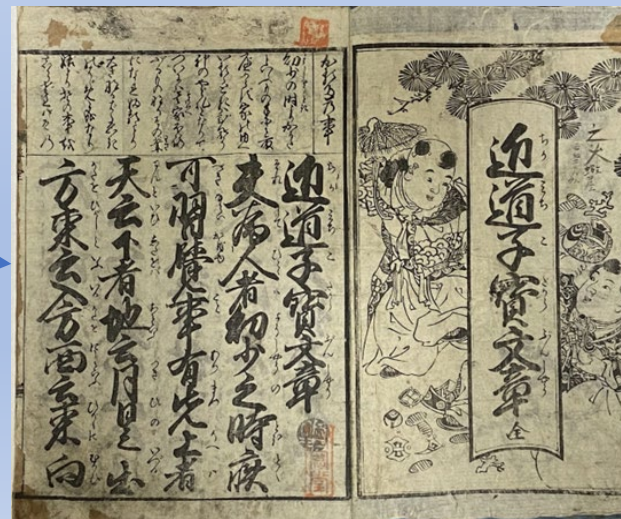
熟字

## ○ 篇尽く国尽く

熟語集(国名漢字)

## ○ 近道子宝

衣食住方角等の基本語彙と心得、学習法



文章

# 3.3 語彙科(国語科)



## ○古状揃

文学入門書。腰越状他

## ○女用文章

かな文例

## ○四季用文章

手紙の書き方

## ○童子千字文、周興嗣(500頃)

漢字版いろは歌1000字

## ○童子節用集

子供用のいろは引き辞書



# 3.4 教訓科・宗教科

14/32



仏教五戒  
不殺生戒  
不偷盜戒  
不邪淫戒  
不妄語戒  
不飲酒戒

○童子教、僧安然(伝) (1377以前)  
1560字の教訓漢詩集  
(寺)には三礼、  
(神社)には再拝、  
人には一礼等

○実語教、弘法大師(説) (平安期)  
480字の教訓漢詩集  
人肥えたる(裕福)がゆえに尊からず  
全体に財より智他

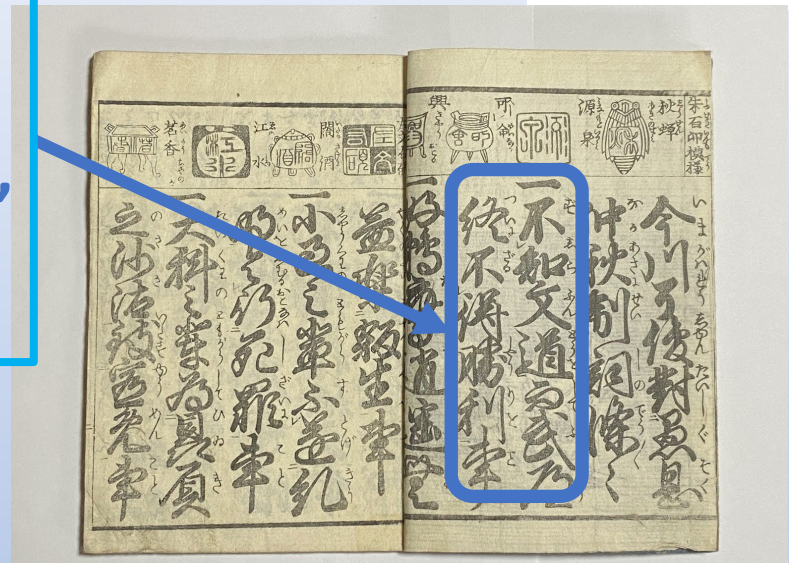




☆今川状、今川了俊 (1400頃成立)

家訓例：今川家家訓22ヶ条・

- 1. 不知文道武道終に不得勝利事,
- ・ 学問武芸を怠ると負→怠るな！



☆貞永式目(御成敗式目)

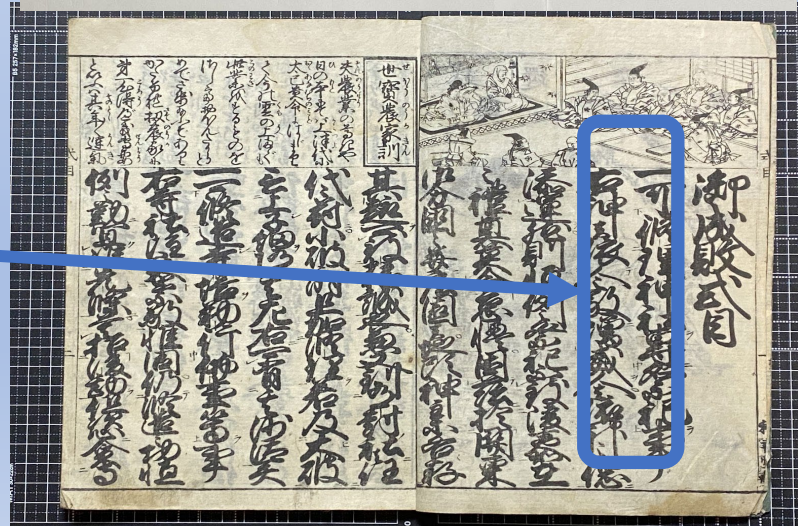
北条泰時 (貞永元年(1232))

当時の基本法(17条憲法の補則)。

習字の手本。51ヶ条全文。

1,2条 神社仏閣の手入れすべし

3条 ...守護は庶民に非法を働いたらクビ



# 3.5 社会科[1]

16/32



**五人組帳前書**、江戸幕府 (1700年前後)  
農家向け法令集、  
50条前後、  
罪人通報、農地改変申告、  
農地売買禁止  
続く本文は住民協定見本



**庭訓往来**、玄恵著(説) (室町前期頃成立)  
生活用語・知識集  
月別に合計25通の書状例  
衣食住、職業、産物等





# 社会科の背景

17/32



## 地域別行事興隆

### 泰平江戸往来(自遣往来)

百姓往来



背景：（全戸定住・全戸自営・継続保証の政策）

① ← 全戸定住(代々居住) ← 家督相続制

封建税制(一定率納税すればあとは自由)(=現在,

≠中世は定額所得で残りは全部税) ← 政策

4公6民 (cf. 現在はほぼ5公5民)

全戸納税出来た(させた) = “余裕”があった

マルクス、資本論、1867、  
“日本では自営農主体、  
．．．”

18/32

② ← 全戸自営 ← **全戸土地所有**

1戸当たり農地10町歩 ≈ 10,000平米(分配)

1村(約100戸)に1寺、

1戸三代5人として1村約500人

全国約6万ヵ村、合計人口約3000万人

③ ← **定住保証** ← 土地売買禁止法

# 3.6 職業科

19/32

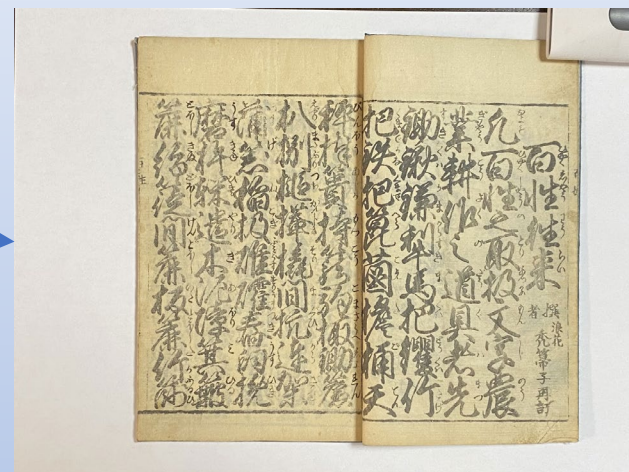


## ○百姓往来、禿箒子 (1766)

農家マニュアル

農業用語と技術、職業倫理

(×脱税はダメ！)

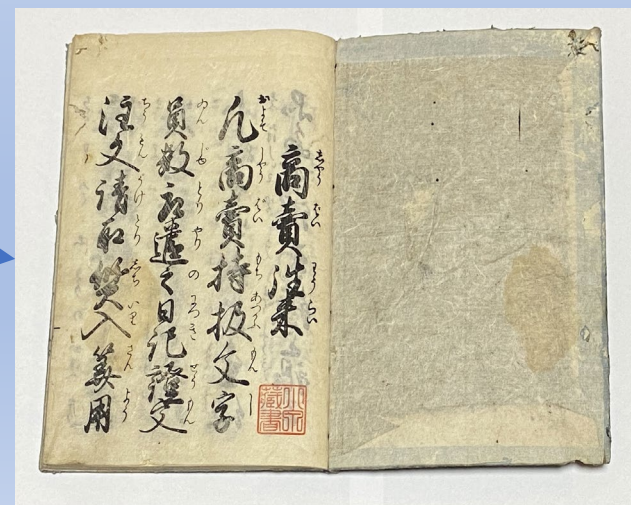


## ○商売往来、堀流水軒 (1694)

商業マニュアル

商業用語と技術、職業倫理

(×偽物はダメ！)

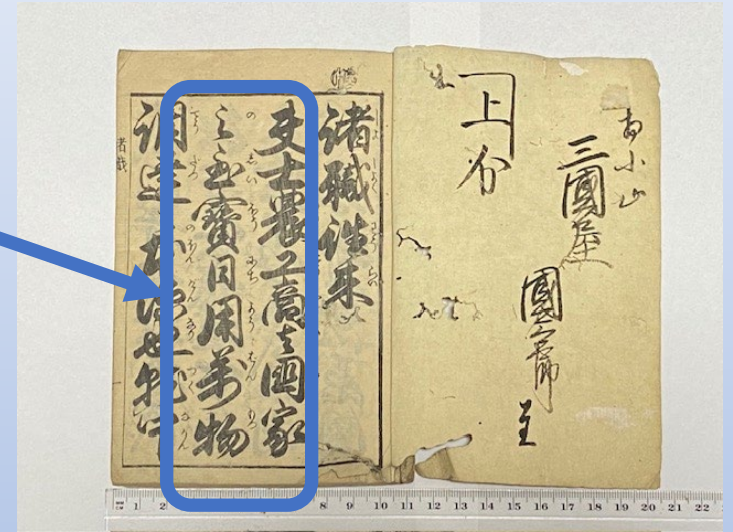




## ○諸職往来、

山田東作(賞月堂) (江戸後期)

「士農工商は国家の至宝」

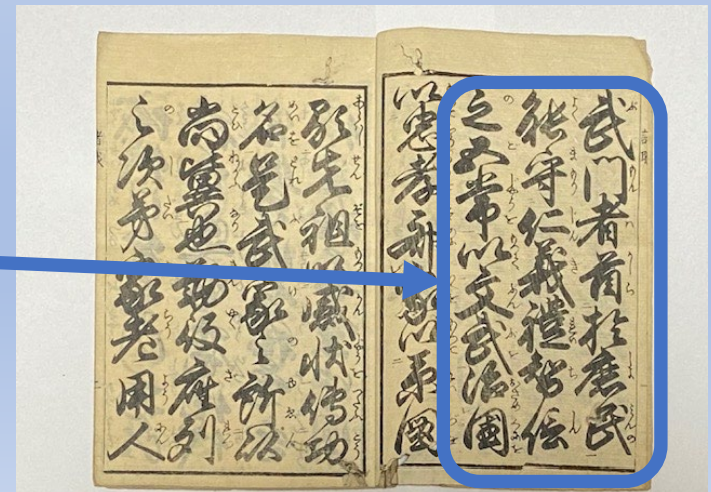


「(武)士は五常 (仁義礼智信)  
が仕事！」

・ ・ 士業(公務員)は(禄(税金))  
を喰むのだからちゃんとしろ！

にはじまり農業工業商業と続く  
士農工商別の職業倫理

YGD-2023-008



# 3.7 理数・芸術・暦占

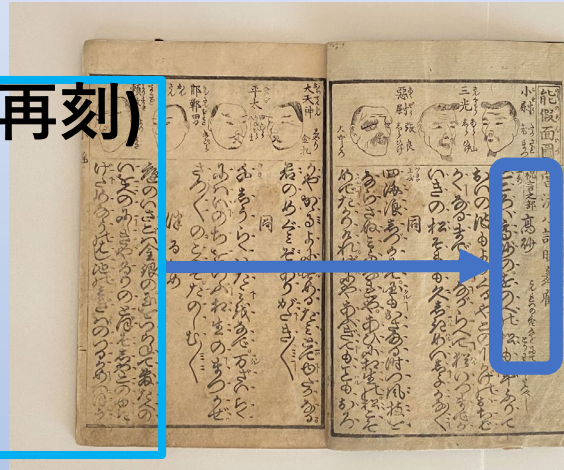


21/32

○塵劫記、吉田光由 (1627)

算数

←入れこ算、ネズミ算



○当流小謡 (安政4 再刻)

歌詞集

「高砂・・・」

から始まる



○男女一代八卦、1786以前、

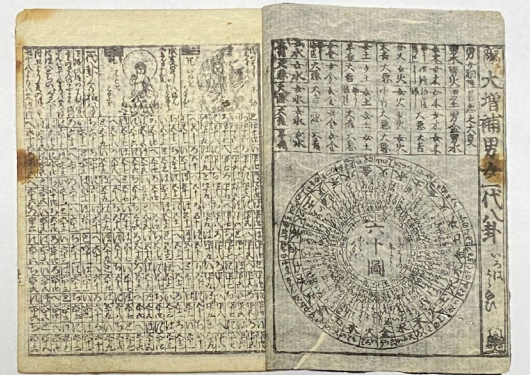
八卦占い

○三世相小鑑、江戸中期、

仏教因縁説占い

○大雑書

陰陽道占い



# 3.9 卒業後：一般書

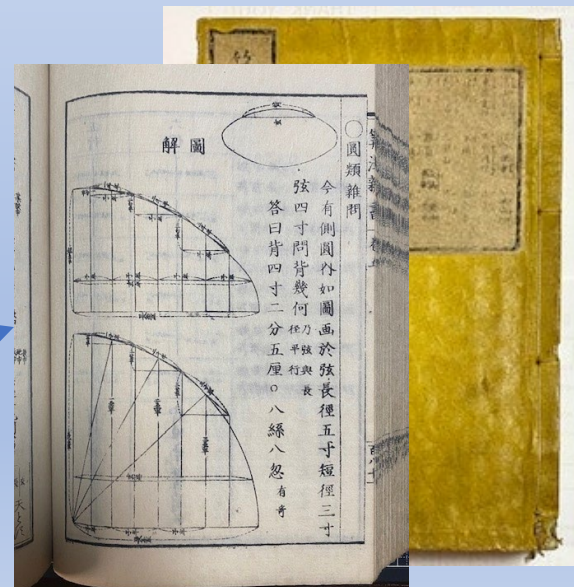
22/32



主な千部振舞(ベストセラー)書物  
**武鑑**(毎年発行)人名録(役職、家紋)  
袖玉武鑑186ページ、携帯版  
**養生訓**(貝原益軒, 1712)、  
**江戸流行料理通**(八百善, 1822)



**東海道中膝栗毛**(十返舎一九)、  
**北斎漫画**(北斎, 1814-)、  
**江戸名所図会**(齋藤長秋他, 1834)、  
他に**算数新書**(級数迄)



# 4. 教育方法

23/32



寺子屋運営書（教師用）

○寺子新式目、笹山梅安 (1695)

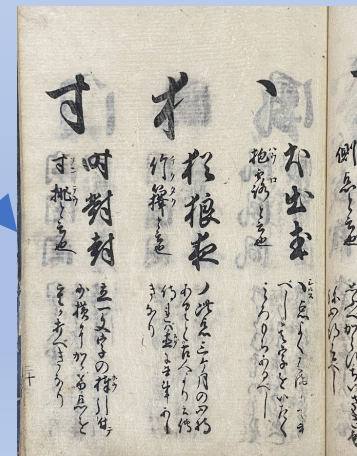
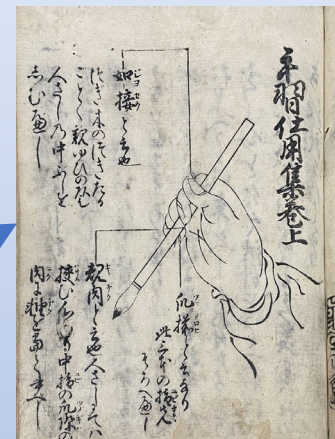
寺子屋の規則

○手習い仕用集、笹山梅安 (1693)

教える技術

○授業編、山村蘇門(序) (1783)

幼児～老人の授業内容



# 4.1 形態：個別最適化 複式授業



個別指導：個別最適化・才能重視(ゼミと同じ)

24/32

↔ 画一教育(近代以降)：個性は例外扱い

・・・寺子屋方式





## 4.2 順序：体得優先

先ず体で覚えさせる←習字優先  
理屈は後回し

現代の体育(実技優先)、理系(書写優先、計算優先)

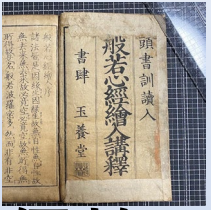
・・・→AIの記号接地問題・身体知

# 4.3 知識構造：体系的

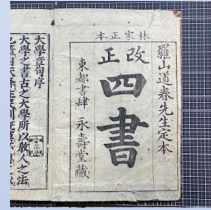
原理：取り扱わない  
教師の知識



宗教：仏教 五時八教他經典



道德：儒教 四書五經他



文化：国学。記紀万葉等神典



童子教

実語教

庭訓往来

法則：覚えさせる  
疑わせない  
あとで考える

書写→理解の順。身に付けた後で意味を考える  
深遠な原理には触れず分かり易い法則だけ教える  
現在の理科教育と同じ構図

# 5. 現代との比較 教育方法の比較

26/32



項目	寺子屋の教育方法	現在の学校の教育方法(日本)
授業形態	複式学級 個別指導 = 個別最適化	教室は学年制 ゼミで個別指導：個性才能伸びる
授業順序	体得優先 形から教える 現在の理系方式：例えば数学科では定理を身に付けさせる。依拠する数学原理は疑わせない。	理系と体育は形から教える 身体知、記号接地問題・・AI 道徳・倫理は納得優先、生徒に考えさせる(原典不提示)
社会性の涵養	原理原則準拠。原典に沿った決まりを教える。多分原典明示	集団順応、原理原典不提示 いじめには逃げる

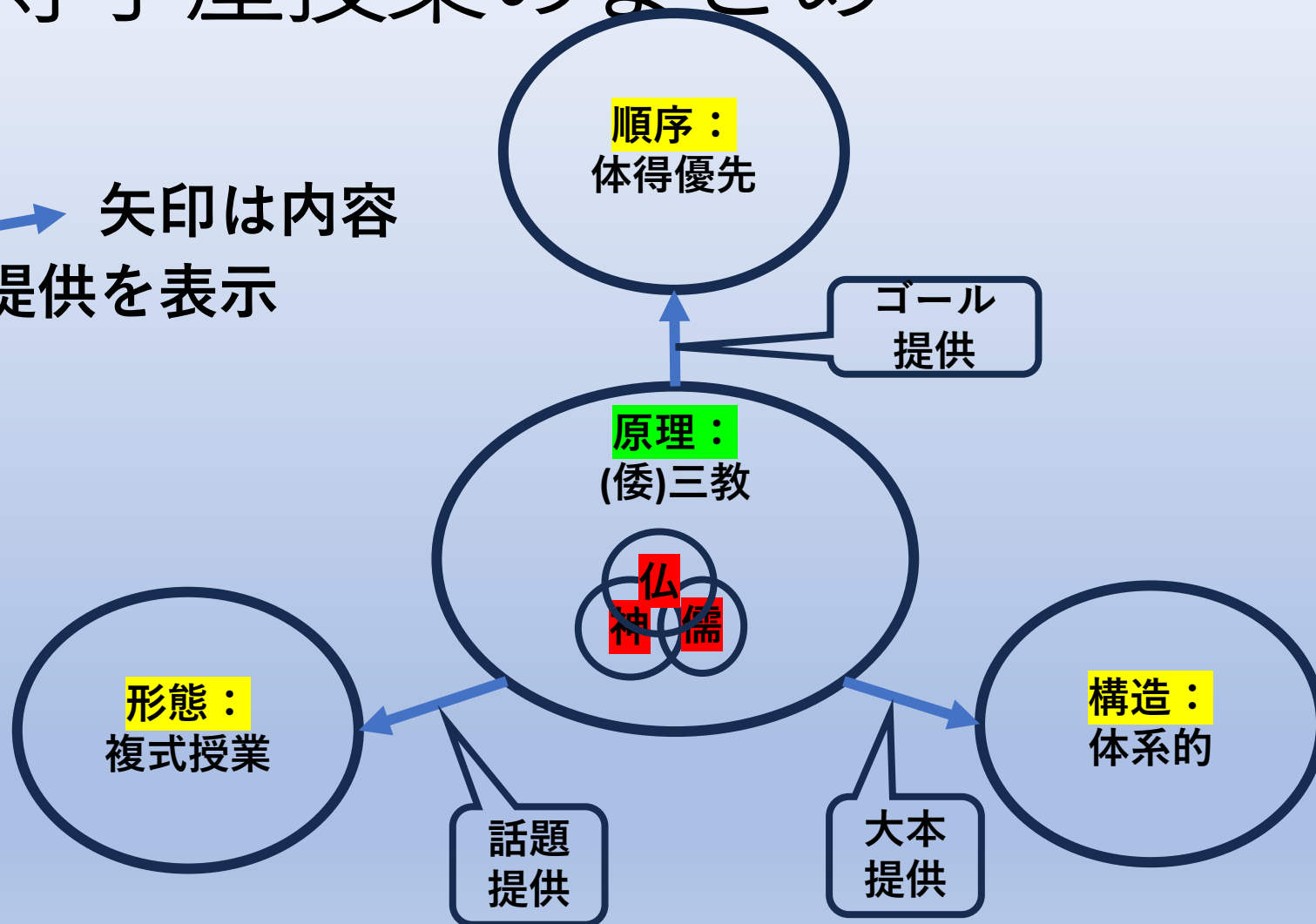
# 教育内容の比較

27/32

	寺子屋	現在
授業構造	<b>体系的</b> 原理原典が明確 文化(国学)：記紀万葉 他(約44万字) 道徳(儒教)：四書五經 (約48万字) 宗教(仏教)：五時八教 (〇万字) 算数：算数新書等	<b>理系は体系的、原理原典明確</b> ： 例) 理科→物理学辞典・化学辞典 数学→数学辞典 <b>学問が基盤</b>  <b>道徳科、倫理科、情報科は羅列的</b> <b>原理原典曖昧</b> <b>基盤無し(生徒に考えさせる)</b>
授業内容	<b>文化道徳宗教三教が中心</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全意識は低い</li><li>・人権意識は低い</li><li>・男女は区別</li><li>・世界史は中国だけ</li></ul>	日本：安全と財産？ <b>中心無し</b> 仏：国是 <b>第五共和制市民</b> の育成、 原理明確 米：国是 <b>忠誠の誓い</b> (唯一神教正義の普及)←原典は聖書

# 寺子屋授業のまとめ

→ 矢印は内容  
提供を表示



# 認識の比較：誤解

28/32

項目	現在の認識(多分誤解)	寺子屋時代の実情
崩し字	学習難易度高い	学習容易(全員履修)
教科書	楷書版が無いと現代人読解不可。	崩し字(かな100字)覚えれば読解可能
教訓/道徳教育の認識	古い、前時代的	原理原典が明確 →身体で覚えさせて体得可能 体系的：現在の理系的
士農工商の認識	日本の制度、身分制度 交替不可能	中国の用語、家業 仕官で交替可能
近世の税の認識	ほぼ小作 重税(現在の5公5民より重い)	ほぼ総自営農 4公6民 寺子屋を維持する余裕あり

# 6. 寺子屋で作法のリ・スキリング

## 注意

- ・ 文化(伝統的行事)を身に付けさせた→共通作法
- ・ 道徳を身に付けさせた→「五常・仁義礼智信」善悪夫々の程度
- ・ 宗教を身に付けさせた→「五戒」生き方「人生は修行、七生」

→ . . . → 「作法・道徳」の格差が拡がらない・安全な社会

## リ・スキリング

学校で教わらなかった、「法則優先方式と読み書き算盤以外」の文化・道徳・宗教をリ・スキリング

文化(作法)：今川状・庭訓往来（原典：記紀神典）

道徳(五常)：実語教（原典：四書五経）

宗教(五戒)：童子教（原典：五時八教）

例. 再教育(形から覚えさせる  
= 理系方式の徹底)

童子教、実語教、世話千字文 (格言)

仏三礼・神再拝・人一礼

財より智

自他幸甚・商売繁盛 他

庭訓往来 (季節行事)

正月行事 他

寺子新式目 (教室ルール)

言う事を聞かない生徒は親に返す



# 7. おわりに まとめ

31/32



- § 2 寺子屋の概要→年表、仕様
- § 3 教育内容→カリキュラム・テキスト解説
- § 4 教育方法→法則優先方式、個別教育
- § 5 現代との比較→方法と内容を比較
- § 6 寺子屋を現在の教育に活かす  
→リスキリング

**END**